

校長室だより

# 中 緑鷹

第 30 号

令和7年11月4日 (火)

〔発行者〕 三笠 淳一

スローガン：○凡事徹底で生活の基礎固め～基本的生活習慣のレベルアップ

○全力燃焼～過程（プロセス）重視

11月1日（土）「FLY～挑戦～」をテーマに緑鷹祭を開催しました。生徒会執行部が中心となって、今年も前例踏襲ではない「緑鷹祭に必要だと思う内容」「自分たちがやりたいと思う内容」で、企画・運営してくれました。午後のステージ発表では、すべての学年が「総合的な学習の時間」で学んだことを劇で表現することを決め、シナリオやセリフもほとんど生徒が作り上げたと聞いています。今年も学校のスローガンとして掲げている「全力燃焼」をすべての場面において感じられました。この緑鷹祭の取り組みで、多くのことを学び成長できただことでしょう。個人としても、集団としてもこれからの中学校生活でその真価が問われます。

## 7年生 木村 架輝くんの感想

私が劇を通しての感想は大きく2つあります。1つ目は、セリフを覚えるのが大変だったことです。小学校の時と違い、セリフが長かったです。2つ目はセリフに感情を入れて役になりきることです。声の大きさや高低を付けながら感情を入れるように工夫しましたが、とても難しかったです。劇をやるときに、少し緊張したけど間違えずに最後までやり切れたので良かったです。



## 8年生 渡辺 百華さんの感想

今日は待ちに待った緑鷹祭でした。練習では熱で少し休んでしまって、みんなよりもセリフを覚えるのが遅れてしまいました。このまま大丈夫かなと心配もしました。でも、本番では嚙まずにスラスラとセリフを言うことができたし、恥ずかしがらずに演技をすることができたので良かったです。来年は今年よりも良い劇にできるようにみんなで力を合わせて頑張りたいです。思い出に残る緑鷹祭になりました



## 9年生 五藤 美幸さんの感想

私は見ている人に伝わるように、大きく表現することを第一に頑張ってきました。次に意見を出し合い、その意見を尊重することを大事にしました。劇は台本を作るときも演技するときも、一人の意見で大きく変わります。いい方向に変わるようにコミュニケーションを取りながら試行錯誤するのが楽しかったです。他の学年も劇も観客に伝わるようにできていて見ていて飽きませんでした。今年の緑鷹祭が最後でした。小中を通してほぼ同じメンバーで緑鷹祭をしてきて、楽しい思い出ばかりでしたが、今年は寂しさも感じました。今年の劇は一人ひとりの受験への思いが込められていました。4月から志望校で高校生活が送られるように、残り少ない時間をクラスみんなで頑張っていきたいです。

## 堤美帆養護教諭の感想

私にとって、教員になって初めての文化祭でした。当日は、小学生・中学生共に4月からの成長や学んできたことが伝わる、素晴らしい発表を見る事ができました。練習の時から劇や合唱を見てきましたが、子どもたちが意見を出し合って、良いものに仕上がっていいく様子や一生懸命に歌う姿に感動しました。大山小中学校の子どもたちを誇らしく思い、労いの言葉をたくさんかけたいと思います。



緑鷹祭の画像は学校 HP でご覧いただけます

## 来場者の感想（アンケートからの抜粋） アンケート結果やすべてのコメントは学校 HP で紹介します

- それぞれの学年が、総合の授業と関連づけて、楽しい劇を作り上げていて、素晴らしいかったです。
- 合唱曲の「Cosmos」、「ふるさと」は、どちらも子どもたちの力強い歌声と歌詞のメッセージが合わさって、とても心に響きました。一人一人の命の輝き、生命の輝きを尊ぶこと、自らの故郷を愛する気持ち。2曲からは繋がりの深い共通のテーマを感じ取ることができました。